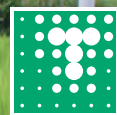




TEBUFLOQUIN

# 農業用殺虫殺菌剤



# 大豆に適用拡大!



# トライトレボン<sup>®</sup> 粉剤DL

農林水産省登録  
第23403号

トレボンは三井化学アグロ(株)の登録商標です。

殺虫剤分類	3A
殺菌剤分類	U16

エトフェンプロックス・テブフロキン粉剤

イネいもち病、大豆紫斑病に高い防除効果

## テブフロキン

ウンカ類から斑点米カメムシ類まで威力を発揮

## エトフェンプロックス



大豆紫斑病



イネいもち病



ウンカ類



ツマグロヨコバイ



斑点米カメムシ類

## 試験結果が効果を実証!

### だいず紫斑病 (岩手県植物防疫協会、2018年)

【耕種概要】

品種：ナンブシロメ  
播種日：6月15日 播種量6kg/10a 畦間61cm 株間20cm(約7.5株/m<sup>2</sup>)  
開花日：8月上中旬 施肥、その他の管理は一般慣行による

【薬剤処理月日・処理量】 粉剤：ミゼットダスターを用いて所定量を散布

	8月22日	9月3日
トライトレボン粉剤DL	3kg/10a	3kg/10a
対照剤A	4kg/10a	4kg/10a

【調査月日・方法】

脱粒調査：10月16日に各区20株(接種畦の両側10株ずつ)を刈り取り乾燥し  
脱穀後に被害粒数を調査した(カルトン皿5回分)

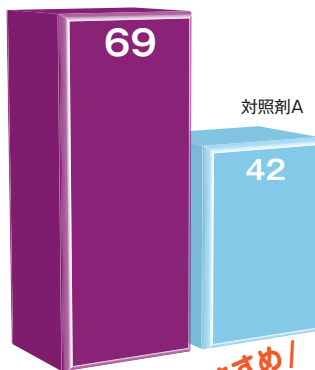
立毛調査：10月21日に実施した。各区の中心株とその周囲4株、計5株から  
それぞれ20莢(合計100莢)を立毛で分解して被害粒を調査した。

【結果・考察】

トライトレボン粉剤 DL は対照剤 A と比べて優る効果を示した。

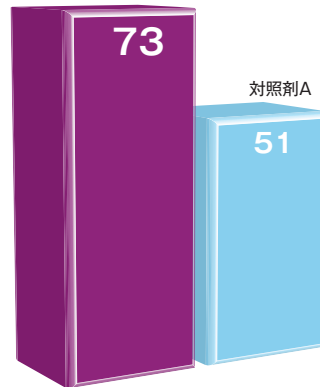
被害粒調査結果(脱穀後/防除価)

トライトレボン<sup>®</sup>



被害粒調査結果(立毛/防除価)

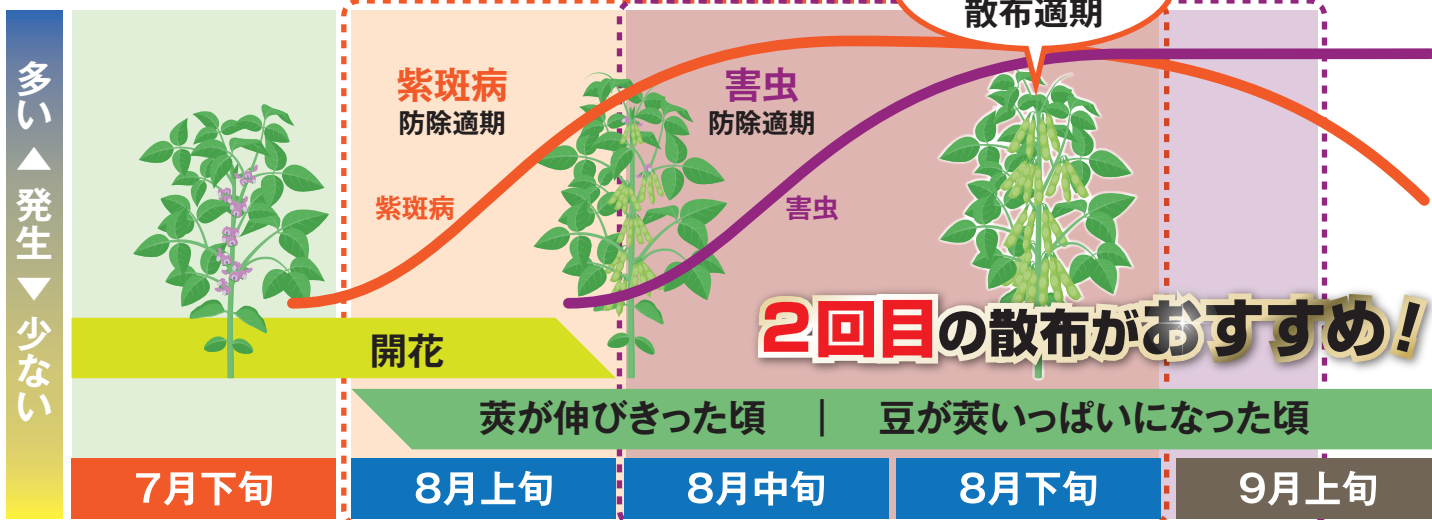
トライトレボン<sup>®</sup>



おすすめ!

トライトレボン<sup>®</sup>  
散布適期

### ●適用病害虫の発生消長



### ●適用病害虫および使用方法

(2020年6月現在)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数	テブフロキンを含む農薬の総使用回数
だいず	紫斑病 フタスジヒメハムシ カメムシ類 マメシクイガ ハスモンヨトウ ダイズサヤタバエ	3Kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内	2回以内
稲	いもち病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	3~4Kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内	2回以内

本剤は農業用殺虫殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないで下さい。 本印刷物は2022年1月4日現在の資料、情報、データに基づいて製作しておりますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

- 使用前にラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。
- 使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう、適切に処理して下さい。
- 防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ/ご注文は